

改組に関するQ&Aについて

2022.2.8更新

【1.(3)メジャー・マイナーコース関係(説明資料P8～)】

Q(3)-1. メジャー・マイナーコースは、全ての分野に設置されているのでしょうか。
また、コースを選択しなくてもよいのでしょうか。

A. 全ての分野にマイナー科目を設置しており、全ての分野の学生がメジャー・マイナーコースを希望することができます。
また、コースを選択しなくても問題ありません。

Q(3)-2. 技術革新フロンティアコース、メジャー・マイナーコースは、4年1学期までに修了要件を満たす必要があるとありますが、単位数が不足した場合、再度4年生として履修することになるのでしょうか。

A. コース修了要件を満たさない場合、コースの修了とはなりません。各分野の卒業要件を満たしていれば、卒業はできます。

【1.(4)技術革新フロンティアコース関係(説明資料P11～)】

Q(4)-1. 技術革新フロンティアコースは、推薦で入学する学生が対象ということで良いのでしょうか。

A. その通りです。学部第3学年推薦入試の合格発表後に、技術革新フロンティアコースを志願している合格者に面接を行って選抜する予定です。

Q(4)-2. 技術革新フロンティアコースの新設によって、VOS特待生制度等の特待生制度の変更はありますか。

A. VOS特待生制度等、現行の特待生制度に変更の予定はありません。

Q(4)-3. 技術革新フロンティアコース学生は、大学院に進学しやすい等のメリットはありますか。

A. 技術革新フロンティアコースは学部で完結のコースであり、大学院進学に有利ということはありませんが、コース修了生は、本学大学院に進学した際の入学料が免除となります。

Q(4)-4. オープンハウス又はラボインターンシップへの参加が要件というのは、技術革新フロンティアコースに希望する場合のみでしょうか。

A. その通りです。
なお、オープンハウスは従来通り、技術革新フロンティアコース希望学生以外も参加可能です。

Q(4)-5. オープンハウス又はラボインターンシップが新型コロナウイルス等の影響により、実施に変更があった場合、技術革新フロンティアコースの選考に影響する可能性はあるのでしょうか。

A. 夏のオープンハウスへの参加ができない場合は、3月のラボインターンシップに参加いただきたい。これも難しい状況もあることも考えられるため、選考に影響しないよう、詳細についてこれから検討します。

Q(4)-6. 高専4年生になるとすぐにインターンシップを検討するため、オープンハウス、ラボインターンシップの実施内容・対応を早めに決めてほしい。例えば、オープンハウスで希望者が多いことにより、第1希望とは異なる研究室を体験することもあるのでしょうか。

A. オープンハウスは従来通りのスケジュールで実施します。
(4月上旬高専へ案内、5月中旬応募締切、8月中旬～9月中旬実施)
オープンハウスで希望者が多い研究室等で参加できない場合は、3月のラボインターンシップに参加いただきたい。
なお、技術革新フロンティアコース希望学生について、オープンハウスで優先的に希望研究室に配属できるか検討します。

Q(4)-7. 技術革新フロンティアコースの修了要件について、コース生以外の学生より、修得すべき単位は増えるのでしょうか。

A. コース必修科目(B1入学者4単位、B3編入者3単位)は全て、マイナー科目は10単位まで専門科目または教養科目として、卒業要件単位に含めますので、それほど多いというわけではありません。ただ、コース必修科目は1単位のため、通常の科目は2単位科目が多いことから、履修科目の組み合わせによっては修得単位が若干増える可能性があります。

Q(4)-8. 技術革新フロンティアコース、メジャー・マイナーコースは、4年1学期までに修了要件を満たす必要があるとありますが、単位数が不足した場合、再度4年生として履修することになるのでしょうか。(3)-2再掲)

A. コース修了要件を満たさない場合、コースの修了とはなりません。各分野の卒業要件を満たしていれば、卒業はできます。(3)-2再掲)

【1.(5)教職課程関係(説明資料P17～)】

Q(5)-1. 理科の教職について、学部3年次編入の学生が2年間で取得できるか心配しています。履修スケジュールはどのようになっているのでしょうか。

A. 理科の教職については、まず、物質生物工学分野の学生以外は取得困難となることが予想されます。また、物質生物工学分野の第3学年次に編入学した学生は、高等学校教諭一種免許状(理科)及び中学校教諭一種免許状(理科)取得に係る単位について、修士課程へ進学してから不足単位を修得することも可能なため、修士課程への進学・履修を含めた取得計画を推奨します。履修スケジュールは、教職課程認定を受けた後、公表する予定です。

【2.入試関係(説明資料P18～)】

Q2-1. 物質材料工学と生物機能工学が統合し「物質生物工学分野」となりますが、令和6年度学部第3学年入学の入試はどのように実施される予定でしょうか。

A. 詳細については現在検討中ですが、令和4年3月末までに、改組に伴う選抜方法を予告として大学の公式HPで公表する予定です。